

令和5年度第5回 浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和5年12月15日（金） 午前9時30分～11時15分

2 開催場所 浜松市役所北館1階 101・102会議室

3 出席状況

日中サービス支援型指定共同生活援助事業所法人名	出席者氏名
ソーシャルインクルー株式会社	小竹 悠平
	杉原 貴子
	石田 奈美子
	山本 淳子
	戸辺 恵美子
	有蘭 香織
	久保 泉
	高塚 大生
	高岡 綾香
	外村 茂
株式会社ラシエル	鈴木 豊大
	川越 悠史
株式会社ファーストナース	長田 友輔
	倉橋 直樹
株式会社 SDGS	上妻 龍弥
	芦澤 和樹
	増田 純也

エリア連絡会名	所属	出席者氏名
中エリア連絡会	中障がい者相談支援センター	藤川 晴海
	中区社会福祉課	飯塚 康敬
東エリア連絡会	東障がい者相談支援センター	平野 明臣
	東区社会福祉課	中谷 知由
西・南エリア連絡会	西・南障がい者相談支援センター	後藤 翔一朗
	西区社会福祉課	杉森 泉

		南区社会福祉課	欠席
北エリア連絡会		北障がい者相談支援センター	本宮 早奈映
		北区社会福祉課	梶田 和彦
浜北・天竜エリア連絡会		浜北・天竜障がい者相談支援センター	大柳豆 勇太
		浜北区社会福祉課	島田 佐栄実
		天竜区社会福祉課	杉本 太司
全市		相談支援事業所シグナル	尾関 ゆかり
事務局	障がい者基幹相談支援センター		雨宮 寛
			山下 由佳
			大軒 優一
			玉木 祐次郎
	障害保健福祉課	生活・就労支援グループ	柴田 多美子
			青柳 聖弥
医療的ケア児等支援コーディネーター			阿部 祥美

4 議事内容

- (1) 開催主旨説明
- (2) 来年度からの実施方法について
- (3) 浜松市障がい者自立支援協議会からの要望、助言について

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活・就労支援グループ 青柳

6 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 無

7 会議記録

(1) 開催主旨説明

・日中サービス支援型指定共同生活援助の提供にかかる協議の場の設置について、浜松市では障がい者相談支援センターの担当圏域ごとにエリア連絡会を設置し、各圏域での意見交換後、市として評価という形で実施してきた。個々の事業所で考えるのではなく、各事業所に対する意見とは言え、法人全体でよりよい事業の実施を検討いただきたいため、日中サービス支援型指定共同生活援助を行う事業者に対し、評価、必要な要望、助言等を行うこととした。

- ・本協議は、障がいのある人の支援を共に考えていくということで実施している。事業所の状況や課題を把握することで、地域の中でどのような支援ができるのかを共に考え、お互いにより良い支援を目指していきたい。

(2) 来年度からの実施方法について

- ・日中サービス支援型指定共同生活援助事業所には、実施状況報告書による報告隔年で求める。日中サービス支援型指定共同生活援助事業所は、初年度の評価結果を受けて次年度に取り組み、次年度中に所定の報告様式を用いてエリア連絡会に対し中間報告を行う。

(3) 浜松市障がい者自立支援協議会からの要望、助言について

○ソーシャルインクルー株式会社

【事業者からの意見等】

- ・要望、助言を受け、真摯に取り組みたいと考えている。すぐに解決できる課題もあれば、中長期的に検討が必要な課題もあり、努めていきたい。地域生活支援拠点等整備事業の役割を果たせるように、地域関係機関と連携を図りながら取り組んでいきたい。

【エリア連絡会からの意見等】

- ・エリア連絡会での意見交換で挙げた課題について、意見交換後早速エリア連絡会との連携を意識してくださっている。
- ・地域とのつながりが出来てくるが故に難しさを感じる部分が出てくるかもしれない。個別のケースとして考えるだけでなく、こういったことがエリア内でも起こってくるのではないかという視点を持っていただき、エリア連絡会で一緒に検討していきたい。

○株式会社 RASIEL

【事業者からの意見等】

- ・エリア連絡会における研修について、サービスの質の向上のためにも参加していきたい。
- ・外部サービスの利用に関して、日中サービス支援型共同生活援助の目的や役割から考えたときに、グループホーム内での活動を充実させていくことの他に、外部サービスに頼ることが正しいことなのか検討していく必要があると感じている。個別のニーズをとらえて支援を検討していくときに外部サービスの導入は重要だが、利用者の自立を目指す目標を見据えた上で考えていく必要があると考えている。
- ・利用者の意思決定について、計画相談支援事業所との連携に課題を感じる事例がある。こういった現状等について計画相談支援事業所と共有できるような体制を検討してもらいたい。

【エリア連絡会からの意見等】

- ・外部サービスの利用について、日中サービス支援型共同生活援助の使命としてはもっと

もなところであるが、個別のニーズという観点で、個々の支援の必要性に応じて対応してもらいたい。

- ・グループホームは生活の場である。また、利用者の障害特性やニーズは異なり、必要な支援はその都度変化するものである。そのため、グループホームだけで抱える体制は適切ではない。地域に開かれたサービスとは、地域とつながった結果利用者一人一人のニーズが満たされていくことである。グループホーム、特に日中サービス支援型は閉じたかたちになりがちである。同じ生活を繰り返す中でそれが普通になっていくが果たして本当に普通なのか、外部サービスを取り入れることで検証しながら支援ができると考える。そういった取り組みをエリア連絡会として一緒に行っていきたい。
- ・個別支援会議の中で齟齬が生じている場合には、第三者の立場として障がい者相談支援センターや基幹相談支援センター、行政も含めて一緒に検討していけたら。

○株式会社ファーストナース

【事業者からの意見等】

- ・なし

【エリア連絡会からの意見等】

- ・エリア連絡会との意見交換の中で、現場の支援員さんの大変さを非常に感じたため、エリア連絡会の事例検討会を提案させていただいた。参加について検討してもらいたい。また、エリア内の事業所と連携を深める中でノウハウの共有ができると考えており、エリア連絡会の活動に参画してもらいたい。
- ・事業者の研修体系や人員確保等運営に関わる課題に関しては、事業者の方にも意見交換に参画してもらえたらありがたい。

○株式会社 SDGS

【事業者からの意見等】

- ・日々の業務に追われてしまい、地域関係機関との連携等やらなければならないと感じていた部分が評価に挙がっていた。今後、一つずつ取り組みを進め適切な施設運営が出来るよう心掛けたい。

【エリア連絡会からの意見等】

- ・エリア連絡会との連携について、エリア連絡会が主催する部会等に積極的に参画していただいている。また、先日『グループホームを知る』をテーマにエリア研修会を開催し、講師を引き受けていただいた。
- ・エリア連絡会構成員から、地域移行という観点での日中サービス支援型共同生活援助の役割について、現状を含めて知ってもらう必要があるといった意見が挙がった。エリア連絡会の中で取り組みを検討していけたらと考えている。

○その他意見

- ・事例検討を実施して、個々の支援のあり方を検討してもらいたい。人間の成長の流れとして、社会化していくのは障がいのある人も同じであり、流れを押しえて支援していくことが大事。そういった視点を持ちながら事例検討でしっかり検討していくべきである。

次回企画会議

日時：1月25日（木）10時～

会場：32会議室